

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	岩井 正親	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4073		事務事業名称	体育施設管理事業						短縮コード	経常	4073	臨時	4074
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設運営費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市都市公園条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成15年6月13日に公布された地方自治法の一部を改正する法律において、公の施設の管理委託制度が廃止され、指定管理者制度が導入された。当市においてもスポーツ事業と関わりの深い有料公園施設の管理運営について、管理運営の効率化（経費の削減）と多様な市民ニーズへの迅速な対応を目的として、指定管理者制度を導入した。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
基本目標 ① 市民ニーズに応じた野外施設の利用時間の拡大（サマータイムの導入）を継続して行う。 ② 施設利用者の利便性の向上に努める。 ③ 平成24年度から五か年間の第3期有料公園施設の指定管理者を公募により選定した。平成25年度から勝田台中央公園小体育館の指定管理者を公募により選定した。						大項目（節）	04	第4節スポーツ・レクリエーション						
						中 項 目	01	1. スポーツ・レクリエーション						
						小項目（施策）	02	(2) スポーツ・レクリエーション施設の整備						
						細 項 目	01	①体育施設の整備と活用						
					実施計画の計画事業	2033	市民体育館耐震診断事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	全市民 余暇の増加や高齢化の進展に伴い、生涯学習、健康維持、人とのふれあいといった観点から、スポーツ・レクリエーション活動への関心が高まっている。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 有料公園施設の管理運営を指定管理者に委託している。市民体育館の耐震診断を実施した。 勝田台中央公園小体育館の開館に向けて、指定管理者の募集及び開館当初3カ月分の優先予約手続き等を行った。 有料公園施設（小体育館を除く）の予約に関して、施設予約システムによる運用を実施した。						
	※平成25年度に計画していること： 有料公園施設管理運営の指定管理者への委託を引き続き実施する。 総合グラウンドの平成26年度の供用開始に向けた準備を行う。						
意図 （何を狙っているのか）	全ての市民が、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を整備する。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	23年度	24年度		25年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民体育館利用者数	人	142,797	139,127	156,874	149,544
	指標2	野球場利用者数	人	36,478	33,568	33,813	36,517
	指標3	庭球場利用者数	人	81,369	75,690	84,041	79,985
活動指標	指標1	市民体育館稼働率	%	84	90	85	84
	指標2	野球場稼働率（総合運動公園）	%	65	65	65	65
	指標3	庭球場稼働率（総合運動公園）	%	70	80	70	75
成果指標	指標1	体育館・野球場・庭球場利用者数	人	260,604	248,385	274,728	267,666
	指標2	市人口（3月末現在）	人	192,884	199,500	192,951	202,600
	指標3	施設の利用者数／人口	%	135.1	124.5	142.3	132.1
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4073	事務事業名称	体育施設管理事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			今後建設される総合グラウンドを活用し、スポーツ・レクリエーション機能の向上を図る。また、老朽化している施設のあり方や、施設の使用料（利用者負担割合）の設定について検討する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			受益者負担の適正化によりランニングコストの軽減を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
① 屋外プールの要望について ② 老朽化した市民体育館及び総合運動公園野球場の改修要望 ③ 市民体育館第2武道場への空調設備の設置要望									

所属長コメント	有料公園施設の運営管理について検討し、効率的な運営管理に努めます。 平成26年度供用開始となる総合グラウンドの指定管理制度を含め準備を進める。また総合グラウンド等の的札な受益者負担について検討する。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			老朽化した体育施設の改修については、順次推進すること。また、総合グラウンド等の受益者負担については、市民に直接かわることであり、引き続き慎重に検討すること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									